

看護実践を語る 素敵な看護に出会う喜び
多くの事前参加登録をありがとうございました

6月になりました。早いもので学会の開催まで一か月半となりました。

5月30日に事前参加登録が締め切られました。多くの皆さんに参加登録をして頂き、ありがとうございました。皆様とお会いできるのがとても楽しみです。

一方で、振り込みや演題に関する手続きなどご不便をおかけすることもあり、ご迷惑をおかけいたしました。事務局としましては誠意をもって対応させていただきました。

事前参加登録に間に合わなかった皆様、当日参加はもちろん可能です。

多くの皆さんと品川の地で、慢性看護について検討を深めることができると願っています。

現在、事務局と企画委員では会場の準備などに取り組んでいます。限りあるスペースで参加者の皆さんが学会に集中できるように、協力して取り組んでおります。

今回の学術集会では7月15日に〈看護を語る〉というセッションを設けました。田谷恵美子先生がご自身の看護実践を語ってくださいます。聞き手として境美幸先生、今井由佳先生にご登壇をお願いしており、ライブ感ある語りの場を持っていただけないかと期待しています。

実践者は自己の実戦を語ることは、恥ずかしかったり、これでいいのかなと悩むこともあるのですが、実践を言葉にする醍醐味もあると思います。実践者も研究者の先生方もご自分のこれまでの印象に残ったエピソードなどを胸に参加していただければと思います。きっと素敵な看護に出会えると思います。

同じく7月15日午後には西村ユミ先生が登壇されます。当学会でもこれまでの学術集会で、ご講演をご依頼しており、先生のファンも多いのではないかと思います。今回はセッションですので、先生と直接お話ししたり、看護を語り合ったりできるチャンスがあると思います。西村先生と看護の豊かなエッセンスを見出す時間になるのではないのでしょうか。

テーマは〈対話—他者と関わる意味・看護実践の問いを言葉にする〉です。一時間という限られた時間ですが、とても楽しみなセッションです。

今朝の東京は快晴で晴れやかです。昨日の美しい夕焼けとともに写真をお送りします。

平成30年6月1日 東めぐみ



6月1日朝



5月31日夕方

